



議会だより

ピツシリ

第 78 号

北海道苫前郡羽幌町南町
TEL(0164)62-1211(内線510)

FAX(0164)62-1278

発行 羽幌町議会

編集 議会広報特別委員会

発行日 平成22年10月27日



おろちゃんマラソン

- ▶ P 2 9 月 定 例 議 会
- ▶ P 3 一 般 質 問
- ▶ P 5 常 任 委 員 会 報 告

議会日誌

〔8月〕

5日・文教厚生常任委員会
27日・総務産業常任委員会

〔9月〕

1日・留前管内町村議会議員
研修会

9日・議会運営委員会

15～17日・第5回羽幌町議会
定例会

・議員説明会

・医療問題調査研究特別

委員会(15・16日)

・文教厚生常任委員会

・平成21年度各会計決算

特別委員会

・行政改革調査特別委員

会

〔10月〕

6日・文教厚生常任委員会

14日・議会広報特別委員会

22日・議会広報特別委員会

町政はあなたのために！

議会を

傍聴しましょう！

■次回の定例会は
12月です。

定例会

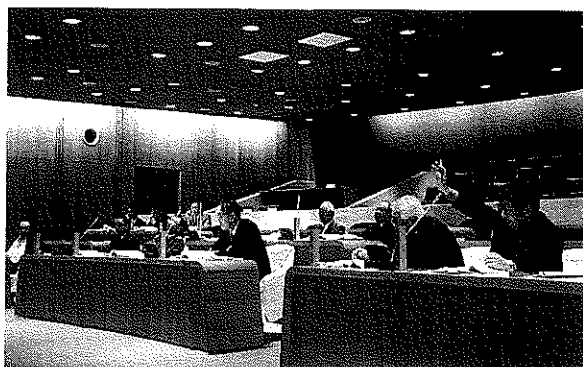
9月15日～17日

- ・議案 — 5件
- ・報告 — 4件
- ・同意 — 1件

- ・諮問 — 1件
- ・認定 — 8件
- ・意見案 — 3件

報告

- ・専決処分報告
- ・和解及び損害賠償の額の決定について(3件)
- ・財政の健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率の報告について



議案

- ・羽幌町過疎地域自立促進市町村計画(平成22年度～平成27年度)の策定について
- ・平成22年度羽幌町一般会計補正予算(31,479千円追加)
- ・平成22年度羽幌町国民健康

保険事業特別会計補正予算(1,781千円追加)

- ・平成22年度羽幌町老人保健医療特別会計補正予算(597千円追加)
- ・平成22年度羽幌町介護保険事業特別会計補正予算(8,377千円追加)

決算特別委員会の設置

- 委員長 森 淳
- 副委員長 熊谷 俊幸
- 委員 全議員

認定

- ・平成21年度羽幌町一般会計歳入歳出決算認定について
- ・平成21年度羽幌町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
- ・平成21年度羽幌町老人保健医療特別会計歳入歳出決算認定について
- ・平成21年度羽幌町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- ・平成21年度羽幌町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

意見案

- ・平成21年度羽幌町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- ・平成21年度羽幌町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- ・平成21年度羽幌町水道事業決算認定について

- ・道路の整備に関する意見書
- ・森林・林業政策の早急かつ確実な推進に関する意見書
- ・「B型肝炎問題の早期全面解決を求める」意見書

閉会中の各委員会の

所管調査事項
(10・11月)

総務産業常任委員会

- ①町道の除排雪計画について
- ②観光事業の現状について
- ③農業の振興について
- ④緊急を要する所管事項について

文教厚生常任委員会

議会運営委員会

- ①本会議の会期及び日程に関する事項について
- ②議会の運営等に関する事項について
- ③議長の諮問に関する事項について

同意

羽幌町教育委員会委員の任命
現教育委員大橋鉄夫氏の任期満了に伴い再任

諮問

人権擁護委員の推薦について
現委員阪本ちる子氏の任期満了に伴い
米山しげみ氏を推薦

一般質問

・今回の大雨による被災状況と
その対応及び課題について
・天売島海鳥繁殖地の現状と
今後の課題について
寺沢孝毅議員

● 7月8日、本町では3度の大雨により、道路崩壊等の災害が発生したが。

- ① 大雨等、異常気象を把握する方法はどの様に。
- ② 本町におけるこの度の雨量はどの程度か。
- ③ 災害の内容と、今後の対応はどの様に。
- ④ 水道の異常の有無、平成11年度と比較しての評価は。
- ⑤ この度の災害で見出された課題は何か。

【町長】①について、警報が気象台から発表されると町のファックスに送信され、防災担当職員に携帯メールも入る。状況により職員が巡回、消防との連携、気象台からの情報収集等に対応している。

②について、気象台の観測所は羽幌と焼尻の2カ所。7月17日から19日まで羽幌では109

mm、焼尻では83mm。7月27日から29日までは、羽幌で102mm、焼尻では142mm、特に28日には焼尻で1時間で31mmの豪雨。

8月14日には短時間に羽幌では81mm、焼尻では89mmの降雨となり統計開始以来の記録的豪雨となった。

③について、7月中旬の大雨で二股沢川に敷地一部流失、道道天売島線の一部が崩壊、8月14日の大雨では、焼尻で道道のり面3カ所が損傷した。

軽度の被害は、修復をほぼ完了したが、天売線については、災害復旧事業として行うことを確認している。

④について、全町的な断水となった11年は、累積雨量が95.5mm取水源の羽幌川原水の濁度は3,370度で制御不能となった。本年7月の豪雨では、その後の施設整備が功を奏し、濁度が3,731度であったが、通常取水が出来た。

【質問】町道通行止めのマニユアルはあるのか。

【建設水道課長】ない。状況に応じて担当者が判断する。

【質問】担当者の考えで対応が変わる可能性がある。マニユアルは必要と思うが。

【建設水道課長】検討したい。

【質問】旧土木現業所で持つ羽幌川の観測データの活用や、天売島の観測ポイントを外部機関に要望しては。

【総務課長】観測ポイントを増やすことで対応も細かになる。気象台へ話したい。

- 天売島海鳥繁殖地は、ウトウが世界最大の繁殖数を誇る一方で、ウミガラスの激減など危うい要素も含んでいる。
- ① 海鳥繁殖地の実情を理解する手だてはどうしているか。
- ② 海鳥繁殖地の現状はどうか。
- ③ 研究者と情報の共有すべきと思うがどうか。
- ④ ペット飼養など事業化してはどうか。

【町長】①について、ウミガラス保護増殖分科会や道海鳥センター運営協議会等を通じて収集。日常的には環境省羽幌自然保護官と天売海鳥研究センターから入手している。

②について、最も減少しているウミガラスは1963年の8,000羽から今年の19羽に激減。ウミネコは1987年の30,180巣をピークに現在は、2,416巣に激減。ウトウを除き大きく減少傾向にある。

減少の要因は餌資源の減少やハンブトカラス、オオセグロカモメ、野猫などの捕食圧の増加が考えられる。

③について、天売海鳥研究室の研究者と情報を共有し、海鳥繁殖の阻害要因について調査研究や保護増殖活動が出来よう努めたい。

④について、ウミネコやウトウの繁殖地に野猫が頻繁に出入りしヒナなどを捕食しているのは海鳥の繁殖に与えるインパクトの一つだ。希少鳥類との共生を図ろうとする住民のモラルの啓蒙を図り、先駆的異例に学びながら検討を進めたい。

【質問】情報収集が間接的だ利尻・礼文では、北大農学部と協定し研究成果を共有し町が研究をバックアップしている。当町でも必要ではないか。

【町民課長】海鳥センターの現況では難しいが、直接的情報の収集も検討したい。

【質問】研究機関との連携は、お互い負担にならない形で始めるべきだ。

【町長】われわれの情報も補ってもらっておりバックアップは必要があると思う。

【質問】ペット飼養の先駆的事例とはどんなことか。

【町民課長】小笠原における希少鳥類保護のための取り組みで、捕獲した野猫を施設で飼いならし飼い主を捜し譲渡している。

【質問】飼い猫と野猫をマイク口チップで区別できる条例を制定し事業化してほしい。

【町長】従来よりも一歩進めた対策を考えたい。

・商店振興会に係わる
 ・街路灯の電気料金負担軽減の対応について
 ・朝日公園「花しょうぶ」とスポーツ公園の「桜」の今後の対応について
 室田憲作 議員

① 商店の閉店等により振興

会の会員は年々減少傾向にあり、街路灯の電気料金の負担は大きな問題になっている。

各振興会では本来の活動費を縮減したり、協力会員を募るなどその対応に苦慮していると聞く。

最近、各町村においてLED灯への切り替えを試み、その結果電気消費量が減少し、電気料金が従来の半額程度となる等の実績が報じられている。振興会の運営を考えるとLED灯の導入を検討し実施の方向を探るべきと思うが、町の考えはどうか。

【町長】街路灯のLED灯化はワット数の少ない家庭用の電球に関してはソケットを活かして電球のみの交換により対応が可能だが、街路灯のようにワット数が多く一定の明るさが求められる場合の電球はまだ開発されていないことから、灯具を交換すること

なる。

また、商店街にふさわしいデザイン性のある街路灯にするには、現在の約6倍の36万円程度の初期設備費を要する。低コスト化や電磁波によるテレビへの障害対策等、情報を収集し検討したい。

【質問】LED電球からの高い電磁波によるテレビの受信障害が起きているとのことであるが、その実際はどうか。

【商工観光課長】受信障害は一部ということですが、設備費用も高額という事もあり導入の際にはしっかりと検証したい。

【質問】振興会通りの街灯の改善には多くの課題があるようだが、振興会通り以外の防犯灯を改良し、軽減された電気料金で振興会の電気料金を負担するということは考えられないか。

【商工観光課長】地区を限定し、実験的に導入して電気料がどの程度浮いてくるのか、それを町全体の予算の中でどう対応するのか等、検討の材料にはなると思う。

【質問】地区によっては、通りに面した一般家庭の方々にも協力を願って街灯の維持に当たっていることも認識し、できるところから対応をして頂きたい。町長如何ですか。

【町長】各商店街の方々と相談をしながら、何が今できる一番の方策なのかを話し合ってみたい。

② 朝日公園の花しょうぶ園の維持についてお尋ねします。花しょうぶ園は道北のメツカーとして多くのしょうぶファンが訪れていましたが、最近、手入れも行き届かず雑草との闘いのような状態です。抜本的な対策が必要と思うが町の考えはどうか。

【町長】しょうぶ園は昭和58年5千株、翌年に4千株を植えその後、株分けをするなど維持管理努めてきたが、最近

は思うように花が咲かず苦慮している。本年7月花しょうぶに關する専門校である「八紘学園」を訪問し具体的な指導を受けてきた。現在その助言に従って作業を進めており来年を期待している。

【質問】具体的にどんな指導を受けてきたのか。

また、来期に向けて今どんな作業をしているのか。



【商工観光課長】株と株の間隔の取り方。株分け。土壌の改良。除草剤の使用等について指導を受けてきた。

現在は、株分けを中心に作業を進めている。

③ スポーツ公園の桜についてお尋ねします。

500本に及ぶ桜の森は、

管内1・2と言われているが、催し物もなく過ぎていくことが残念です。町としてこの森の活用をどう考えているもか。

【町長】昭和50年頃から羽幌ライオンズクラブを中心に植樹され現在590本を確認している。平成3年にはパークゴルフ場もでき多くの人々が楽しんでる。また今春「憩いの広場」を開設した。散策する町民の姿も見られるようになった。

催し物の開催については、特に考えていないが、町内の団体等で催し物を行う場合は、「憩いの広場」を解放したい。

【質問】折角の資源である民間と共同で作り上げていくという考えはないか。

【町長】桜の木の景観を財産として守り育てたいという気持ちには十分に持っている。

憩いの広場周辺の整備を含め、多くの方々が集い、楽しめる時間をどう創り出していくか、共に知恵を出し合っていると考えていきたい。

所管事項調査

総務産業常任委員会

(平成22年7月22日開催)

港湾事業の

進捗状況に

ついて

1 「港湾整備状況」

○資料に基づき説明を受ける。

・平成22年度に泊地の浚渫、次年度以降に航路の浚渫を要望していたが、開発局より災害時に耐震岸壁を利用出来るよう先に航路と泊地に一部を浚渫したほうがよいのではという意見を受け、計画の一部を変更し、平成22年度は泊地の一部と航路の浚渫、23年度は泊地の残り部分を浚渫する計画に変更。

・防波堤波除(中)の計画は、高速船の出入港の関係から、防波堤波除(中)が岸壁より長く張り出さない計画要請があり、開発局に静穏度調査を依頼した結果、国の基準を満

たしていないことが判明した事から、静穏度対策として防波堤(西)及び防波堤(内港)に消波ブロックを置き波返しを少なくする計画とした。

【質問】今後、えび籠漁船が、現フェリー埠頭に移る計画だが、防波堤波除が昨年の図面には計画なく、今年の計画にあるのは耐震岸壁等の説明箇所か。

【回答】現、フェリー埠頭の所に出来る防波堤波除、これはホタテ船の係留場所の静穏度が悪く、それを確保するための防波堤である。

【質問】中央埠頭の埋め立て等で心配していた地盤沈下についての現状は。

【回答】埋め立て時に凝固剤を入れる等の情報を得ており特に心配していない。

【意見】10次計を完成させ静穏度を見ながら中央埠頭を完成させ、色々なアクセス等々を完成させるのが一番だと思っている。念には念をいれ最後の仕上げ段階に来ているのでその辺も確認し進めて欲しい。

い。

【質問】羽幌港の上架施設の所が、今年南風が吹いた時にかなりの砂がレール或いはそこを越え海の中に埋まった状況が見られた。そういった砂の流入を防ぐ為のフェンスを設置して欲しいとの要望に対する対応は。また、中央埠頭整備に伴い、福寿川の護岸整備の整備計画は。

【回答】今年の春先に強風により上架施設の所に砂が溜った状況は確認している。例年9月末頃を目途に羽幌港の浚渫をしているが、それを少し早める形で今ホタテ漁の方々と打ち合わせをし、上架施設側まで掘りたいと思っている。フェンスは開発局の補助等を考えているが、現在、10次計でかなりの予算を投資している。漁協からも要望はあるが少し待って欲しいと回答している。

福寿川の護岸については、現在、アクセス道路として、1丁目5間通から国道に抜ける計画である、当然サンプラの宿泊者、川北方面からの方が通るといふことで、護岸整備が必要かどうか見極めながら来年度以降検討していく。

2 「中央埠頭アクセス道路について」

○資料に基づき説明を受ける。

・振動調査実施の可否について開発局へ照会したところ2条通は町道であり、開発局としては町道の振動調査は実施しない旨の回答を得た。

・開発局では2条通と福寿川沿いの臨港道路取り付け部分について、町有地だけで拡幅が可能かなどの調査のみを実施、町有地のみで対応可能である旨の回答を得ている。

・担当課としては、これまで、国の調査に係る質問意図を錯覚し誤解を招くような回答を行い報告が遅れたことを陳謝すると共に、振動調査については次年度以降に実施するよう検討したい。なお、地質調査は下水道で調査した結果を基に問題ないと判断した。

【質問】下水道調査した地質を基に問題無しと判断したと説明あったが、2条のルートから外れた所は問題があるから外していた。今のところ問題ないと言っているのは数字上のものか、もう少し違った形のものか。

【回答】2条の比較的低い方

と高い方の2点を比べたときにやはり粘土質が上の方が高いので当然軟弱だということ、地質的に問題があるとして、1丁目5間通で左に曲げ国道に通すという考えで進み、そういう地質調査の部分のデータをもって問題は無いという認識を進めている。

【質問】振動調査は1回で良いのか疑問である。季節等が変わってくるとしたら今年度から実施して見ると言う事は全く検討出来ないのか。

【回答】即答できないが、意見として検討して行く。

【質問】あの辺はこれまでは非常に静かな場所である。大型車輛等交通量が急に増える事になる。これは住民にどのような説明し納得してもらおうのか心配だ、その辺何か認識はあるのか。

【回答】説明会で何点か要望を挙げて貰い、その内容を課内で協議した。それを持って6町内会には説明会をさせて欲しいとお願している。

3 フェリーターミナルの整備について。

○資料に基づき説明を受ける。

・新ターミナルはバリアフリー

1化し高齢者等の利用にも配慮すると共に、現ターミナルには保管庫が無く、これを改善するため併設についても検討したい。

・平成23年度に調査・設計、24年度建設、25年度4月供用開始を目指し計画。

【質問】フェリーターミナル上屋の面積が現在の倍の面積、金額は3億円と新聞報道されている。説明ではまだ決定されていないとの事だが。

【回答】新聞報道の面積・金額は、総合振興計画(実施計画(ローリング))時担当課として算定した。その時現状のターミナル面積578.6平方メートル、これを基に荷物の保管庫、離島のゴミの一時保管庫、車輛等の資材庫等を含めたものを加味し、大凡900平方メートルを基礎として、これまで公共施設の設計をした価格を勘案し、その当時平成21年度に建設したと仮定して算出した金額が約3億円である。それが報道された形である。いずれにしても規模や建設費は決定しておらず、今後、利用者や関係部局等と十分協議し進めて行きたい。

4 羽幌港・焼尻港・天売港の港湾統合について

○資料に基づき説明を受ける。

・焼尻港・天売港は完成港で、現在国による港湾整備は行われていない。

・焼尻港は老朽化対策が必要であり、また天売港もいずれ老朽化対策が必要となるが、老朽化対策のみで国の事業再開は期待できないことから町単独で整備する必要があるが、港湾整備は多額の費用と専門知識が必要であることから、焼尻及び天売港を羽幌港に統合し、羽幌港の国直轄整備事業の一部として老朽化対策出来ないか検討している。

【質問】北海道特例の見直し等での情報は入っていないか。

【回答】現在のところ情報は入っていないが、今後とも情報を集めながら即応出来る体制に努めたい。

(平成22年7月22日開催)

過疎計画の

策定について

○資料に基づき説明を受ける。

・平成12年に施行された、過疎地域自立促進特別措置法が本年3月31日を以て失効を迎えたが、全国各地から立法措置を求める強い要望が出され、平成22年4月1日～28年3月31日まで6年間延長された。

羽幌町も新たに6年間の市町村計画を策定し、事業の円滑な実施と安定的な財政運営に務めたい。

【質問】特別措置の拡充若しくは撤廃のなかで、羽幌町との関わりの中で注目していくべきものは。

【回答】大きな事業では小学校の改築である。これまでの過疎計画の中では小学校の改築整備等に関しては統廃合の条件がなければ過疎債を活用できなかったが、今回の改正では統廃合条件は撤廃されたため、羽幌町で耐震化等において改築を進める場合でも過疎債対象となった。

【意見】小学校及び保育所改築計画等の大型事業が掲載されているものの、現時点では不明な部分が多くある、各事業の調査と協議を十分行った計画策定に期待する。

議会活動報告と懇談会

総務産業常任委員会主催

(平成22年8月27日開催)

オロロン農業

協同組合理事 との懇談会

○JJAオロロンの概要について説明を受け、農業の現状の課題等について懇談に入る。

「課題の主な内容」

・農家の高齢化と後継者不足による離農が一番大きい。ま

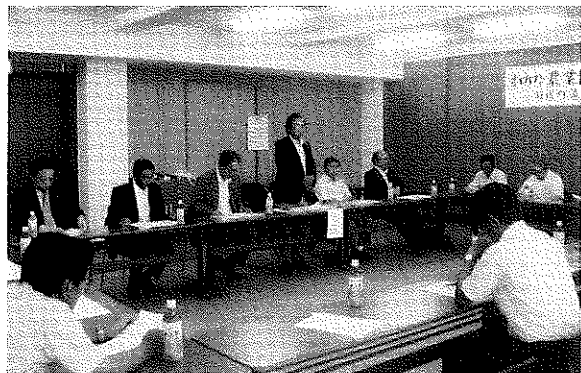
文教厚生常任委員会

「8月5日開催」

特別養護老人

ホームの進捗 状況について

た、後継者の嫁問題もある。
・嫁問題を解決する一つの方法として農業だけではなく、漁業や商業等も合わせ、婚活パーティーの様なものを開催しても良いと思う。
・農協として考える後継者支援対策は、離農跡地を賃貸しその賃貸料に対する助成金、農地取得に関わる生業資金の借入金額の償還利息対策、Uターン就農者の住宅支援対策である。これらについて町にも支援できないか検討願いたいと考えている。また、アスパラガスの選果機老朽化に伴う入替時の補助をお願いしたいと考えている。
・オロン米はライスターミナル建設後、ブランド化しており効果は上がっているが、価格面では生産者に大きくプラスとはなっていない。
・後継者不足については、最終的には農業所得、要は利益が少ないため後継者、例えば新卒にしるUターン者にしるその人に給料を出せないという部分が大いと思う。きちんと出している人も居れば、昔ながらのやり方でやっている人も居ると思う。
・暫く農業後継者が帰って来



ないと思っていたが、結構帰って来ているように思う。条件が整えば帰ってきたい、また、所得の問題等が解決すれば、農家が嫌だという訳でもないように思う。但し、ある程度将来性があり、普通以上の所得があり、やりがいを持てればという感覚を持っていると思う。
・これから高齢化が進む中で土地は絶対浮いてくるからそれを賃貸、或いは、買う、それに対して町として多少の助成をするとか、固定資産税を一定期間免除する、そういった側面で協力してあげればかなり効果も大きいと思う。

①給湯設備に係る対応について

・ユニット棟の浴槽の湯張り時間が遅いとの指摘があり調査の結果「一般的な湯張り時間よりも遅い」ことを確認した。
・原因は、同時湯張りを予想しなかった事。加圧ポンプ選定の誤り。設計図への配管径記載の誤り等が考えられる。
・対応、加圧ポンプ及び正規な配管径への配管取替えを行った結果、短時間で湯張りが可能となった。

・2期工事への反映として、多床棟とユニット棟が同時使用となると給湯能力に不安がある。増設し加圧ポンプの変更を行う。と説明を受ける。

【質問】給湯能力に不安があることからボイラーを増設したとのことであるが、そうした事は、設計の段階で出てこなかったのか。
【回答】湯張りの時間を総体として概ね1時間と考え台数を算定したが、時間を短縮するためもう1台の増設を考えた。

【質問】設計段階で設計者との打ち合わせを綿密に行ったのか、お任せの感じがする。
【回答】打ち合わせは頻繁に行っている。

【質問】加圧ポンプを付ければ、ユニット棟と多床棟の浴槽を同時にスタートした場合でも時間は60分で済むということではないか。
【回答】その通りです。

②すが漏りに係る対応について

・3月13日、ユニット棟共用廊下天井より漏水があった。通常は水や雪が融けスノーレーンに流れ落ちるが、融けきれない水の層に遮られ停滞した

融解水が鉄板を通り室内に出たものと推察される。

・原因は、屋根面材との軒先納め部分がシール多過となっており侵入水が抜けのない状態であった。また、鉄板同士の重ね部分はビス留めを施すものであるが、ずれた箇所がありビスと鋼板の間に隙間がありその周辺から漏れたと考えられる。

・対応としては、原因箇所の防水テープの貼り直し、更にシールを施し原因箇所以外にも軒先から3m程度追加シールを施した。

・2期工事への反映として鉄板には1期工事に加えてシールを施し重ね合わせ、ビス留め位置に留意しスノーレーン側のおさまり部分については排水しやすいように形状を改良する。等の説明を受ける。

【意見】羽幌の業者が出来るような特殊な工法と言うことで、あってはならないことだ。担当課として厳しく業者に指導すべきではないか。

【質問】すが漏りして天井材が汚れた。天井材を取替えるべきでは。

【回答】取替えが必要な状態であれば、取替えようと思っ

ている。

【質問】担当課のみではなく業者、設計者、その他関係者が入って検証されているのか。また、修理費用はどうなるのか。

【回答】費用は当然瑕疵であるので業者の方々に負担することになる。

③雨漏りに係る対応について

・4月30日管理棟廊下トプライト付近より漏水があった。
・原因は、トプライト周辺のおさまりのシールの一部に不良があり、ここから強風による雨水が侵入したものと考える。

・対応として、トプライト周辺のシールをなおす。
・2期工事への反映として、おさまりの難しい位置を回避するよう計画し施工する。
と説明を受ける。

【質問】旧特養でもその様な箇所シールが貼ってあったシールは劣化するので解決にはならないと思うが。

【回答】通常鉄板の工法は、シールを使用している。

【意見】施設維持の観点から定期的に劣化する箇所の修繕

経費を予算化しておくことが必要ではないか。

公営住宅及び 町単独住宅の管理 運営等について

・公営住宅建替整備事業は、羽幌町住宅マスタープラン・公営住宅等長寿命化計画に基づき建替え、改修等の整備を進める。

・朝日団地の建設は、今年度で終了し来年度からの建替事業は、幸町団地となる。

・幸町団地の建替整備事業計画は、現在の78戸を56戸に縮減し現地に建替える。

・北町団地は、幸町が終了した後36年以降に行う。団地を2ブロックに分け計画的に修繕等を行っていく予定。

・夕陽ヶ丘団地の入居状況は5月18日で77戸となっている。以上の説明を受ける。

【質問】整備計画で1Lと2Lの戸数の割合はどうか。

【回答】トータル的には1Lが4割、2Lが6割の構成比となっているが、入居希望に

ついては全体的な調査をしながら最終的な戸数を決めたい。
【質問】幸町はブロック建てであることから内側の壁の張替え程度で新品に戻るよう思うがどうか。
【回答】過去にもその様な修繕で対応してきたが、耐用年数を延ばすような形での修繕はできなかった。



【質問】長い間住んでいるお年寄りもいる。そうした方をあちこちに動かすのは如何なものか。引越し費用は出るのか。
【回答】移転補償費は出る。建替え整備に関しては全て出る。

【質問】今の住宅では何千円かの家賃であるから生活が出来るが、新築となると家賃も当然高くなると思うがどうか。
【回答】低所得者の減免措置がある。古い住宅の場合は、1割減免しかなかったが、新しい住宅になることによって5割の減免が適用される。

【質問】建替えのため退去しなければならぬ場合、個人で建てた改造物を一緒に解体できないか。
【回答】現状に復して貰うのが原則だが、個々に協議をさせて貰い、ケースバイケースで考えたい。

【意見】夕陽ヶ丘団地は現在人気はあり多数入居しているが、将来的なことも考えるとオイルサーバイを取付ける等ある程度の住環境改善が必要と考える。

ミックス事業

（ご尿処理） について

・事業推進計画は、本年9月道と協議再開。25年建設工事に着手。27年供用開始。

・羽幌町が事業主体となり、許可申請から施設建設までの一連の事務を執行する。
・建設費は、3町村で応分の負担をする。

・負担割合は施設組合の規定にこだわらず前処理施設などの維持管理費の負担割合との均衡を図って決める。
と説明を受ける。

【質問】補助採択要件の下水道普及率50%以上の見直しはどうか。

【回答】行政区内での1/2 50%要件のクリアは極めて難しいものがある。事業課内部で対策を協議していきたい。

